



はじめまして、今
後の更新予定です



今月は私たちの自信作、バトルボーラーはるかをお贈りいたします。

この作品はファンタジー小説で7月8日頃を予定しております。

バトルボーラーはるか概要

バトルボーラーはるか概要

徳島邪馬台国説と古代イスラエルの神話とをミックスさせたファンタジー小説。徳島が邪馬台国であり、それが古代イスラエルの名残りを色濃く残すのは、近年の研究やテレビ等でも一部明らかにされているが、そこにはソロモン王の秘宝という有名な宝があるとされ、最大の関心事となっている。

その秘宝を見つけたとされる、とある郷土史愛好家がそれを知るにいたる、いきさつを告白する形で物語は始まる。郷土史愛好家である作者が、ある日偶然立ち寄った飲食店。そこで出会った店の主人と交流を深めていく内に、徳島で秘宝を巡る壮絶な戦いがあったのを知らされ、作者は狼狽する。戸惑う作者に店主はさらに言葉を重ね、その戦いの全容を世間に公表するようにと頼む。

店主が話を始めると、作者は急に意識だけがタイムスリップし、秘宝を巡る戦いが生じた当時の時代へと行って、戦いの当事者達の心の状態や様々な事を知る事となる。まるで神にでもなって人間の生活を見ているかのような感覚。そこで見聞きした内容を、作者が活字に直したという運びとなっている。そこからはドキュメントタッチの文体から小説風の形を取っている。

徳島に眠るソロモン王の秘宝。神がかり的な力を持つ八人の使い手が、その秘宝を巡り戦う。主人公はるかは女子高生だが、ただの女子高生ではなく、伝説の秘宝を悪の手から護る側の立場で戦いに巻き込まれて行く・・・

巻別概要

第一集 バトルボール

古代ユダヤより伝わる八大心拳。秘宝を巡る戦いの幕があける。バトルボールの構造を邪馬台国説や聖書などの言葉を引用して、もっともらしく本当にあったかのように説明している。

今まで、漫画のキャラ達が必殺技を出す時に技の名前を叫ぶのは、冷静に考えれば不可解かつ滑稽であったが、逆にそれが最も必要な予備動作なのだと、聖書や科学をミックスさせた理論を根拠に言い切っている。

では本編の公開をお楽しみに♪

キャラクター紹介 はるか

はるか

見た目は女の子らしく、しとやかで爽やかな印象。博愛主義的に分け隔てなく人に接するので、周りからの評判はすこぶるいいが、家庭環境や過去の影響からか、本人は自分と一般人との間に距離を感じている。人付き合いへの苦手意識。コミュニケーションをどうやって取ればいいのか、いまいち分からない。幼馴染みの沙織だけが、唯一、学校では心を許せる相手。身寄りのない、はるかが遠慮なく甘えられるのは秀樹だけで、兄のようにも慕い、やがてその思いは恋愛感情へと発展する事となる。他校生にまで告白のラッシュにあう、「超」がつく美少女の彼女にとって、同世代の男の子達は、ガツガツとして見えているのか、露骨には態度に表さないが嫌悪感さえ抱いているようで、その反動が秀樹への好意に転じているようにも見受けられる。

外見等 透明感のある超美形，ショートカット（色：レッド），成績優秀，スポーツ万能 身長は158cm

性格 女の子らしい，社交性がある（本人の手応えは逆），控えめでおっとりとしているetc.

趣味 音楽鑑賞，ドラマや映画鑑賞

好きな食べ物 チョコレート，お好み焼， 基本的に甘いもの好き。苦い物とワサビが苦手。

※ 本編中には詳しい説明は出ないが『人中極咲疏心剣法』とは、フェニックス心拳の武道の型である、『熾天鳳凰拳（してんほうおうけん）』の剣技の奥義である。この剣技の動きがプラスされる事により、熾天鳳凰拳は完成された拳法となる。

キャラクター紹介 秀樹（ひでき）

秀樹（ひでき）

外見 身長173cm 男らしいが、爽やかで品のあるインテリタイプ。

性格

洞察力に優れ、礼儀正しく、頭が切れる上に博学で、欠点という欠点は見当たらない。

趣味 旅行，映画鑑賞，文学系の創作活動，読書，ホタル狩
（月見や花見など風流なこと全般を好む）

好きな食べ物 マック，和食

八倉水神流（やくらすいじんりゅう）という、かつて日本を支配していたとされる古武道の宗主でもある秀樹。その武功は、裏社会ではすでに伝説化されており、裏社会で彼を知らぬ者はいない。`最強、との呼び声も高いが、本人はそれに驕らず、温和で誠実。冷静・知的で道義をわきまえ、物事の道理に精通し、行動もそこからブレる事はない。その人となりから『八万の鉄中棠』という敬称が、いつの間にか付けられ、多くの武術家達の憧れの的となっている。機知にも富み、度胸も据わり、強い上に人格者と申しぶんのない彼だが、一つだけ欠点がある。それは女性の扱い方で、誠実であり過ぎるがゆえに奥手となってしまいうようだ。免疫がなく、気後れするのが、あらゆる面で人間的に長けている秀樹のギャップとなっているが、あまりにも落差ゆえに、なかなかとそこが異性には理解されず、女性に対しては苦勞が絶えない。

※鉄中棠（てつ ちゅうとう）

古龍原作の武侠ドラマ『大旗英雄伝』の主人公。

完全無欠な人物への形容詞ともなっている。

キャラクター紹介 正友（まさとも）

正友（まさとも）

外見 身長170cm細身，黒い服が好き，ブーツ姿が多い，アクセサリーをいくつも付けている

性格 派手好き

女好き

空気が読めない

（読めないんじゃないくて、あえて読まない：本人談）

『讃岐の山ピー』と、自らを称している。

特技 景山ヒロノブのモノマネ，消しゴム落とし，うどん早食い

風の内力を操る、飛龍心拳の使い手。今時の若者風の格好をし、言葉遣いも雑な所もあり、秀樹とは対照的な外見でもあるが、根は優しく面倒見もいい。ただ、その表現方法が少し屈折しているだけなのであるが、そこが理解されるまでの間は、はるかとは何度か口論になる。香川のとある村が、その昔、龍の怒りを買って滅ぼされそうになった折、舞を供じてその怒りを鎮めたことで、龍姫、と呼ばれた巫女の末裔。その血筋からか、芝居と名の付く物全般を好む傾向があり、和風のものが好きという性格から神楽や歌舞伎を自らもたしなむ。心拳使いとしては珍しく、親子で技を継承している。父は男らしく豪快な人物だが、子に似て屈折しており、さる理由から自分の技をすべては伝授していない。

キャラクター紹介 沙織（さおり）

沙織（さおり）

はるかに劣らぬ美少女。本編には明かされないが、徳島の中高生がやりとりをするサイト上で、徳島中の学生の美女ランクがバカな男連中の間でつけられていたのだが、はるかに次ぎ不動の2位をキープし、メガネっ娘部門・萌え部門（萌え部門は後に詩音に首位を譲る）ではダントツの首位であった。言葉遣いが舌っ足らずで、馬鹿っぽく見られがちだが。妙に勘が鋭く、抜け目のないのが本当の彼女の姿である。そこには、武道家である父の影響があるようである。沙織も秀樹の事が大好きだが、はるかの好きとは少し質が違うようである。しかし、本編には細かくは触れられていない。

外見等 ロングヘアー，健康的なかなりの美形，成績：中の上あたり

身長は160cm

性格 天真爛漫，イタズラ好き，人なつっこい，馬鹿っぽく見えるが実は利発，好奇心旺盛で積極的だが、我が強いわけではない。理性的で、受け身的なはるかとは対照的。家庭的な娘ではある。

好きな食べ物 クレープ，秀樹の作った物全般，甘い物全般，苦手な物や好き嫌いは特になし。

趣味 映画やドラマ鑑賞（はるかに合せる形），編み物，料理

はじめまして、今後の更新予定です♪

<http://p.booklog.jp/book/52999>

著者：Ψ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/eternal-spirit/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/52999>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/52999>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ